経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県　松伏町

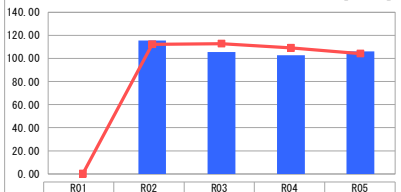
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	77.36	69.71	91.32	2,035

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
28,140	16.20	1,737.04
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
19,566	2.80	6,987.86

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

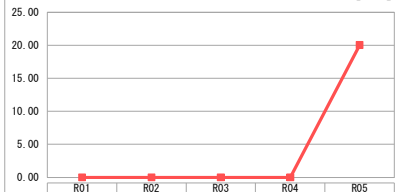
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.91】



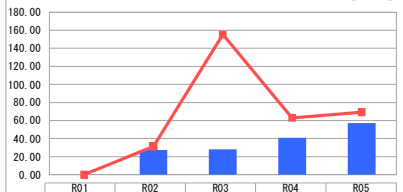
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	115.51	105.56	102.70	106.14
平均値	-	112.36	112.65	109.07	104.17

②累積欠損金比率(%)　【3.03】



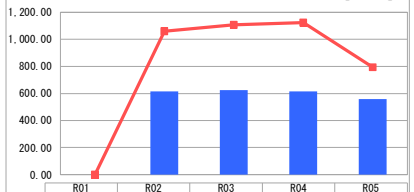
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.00	0.00	0.00	20.04

③流動比率(%)　【78.43】



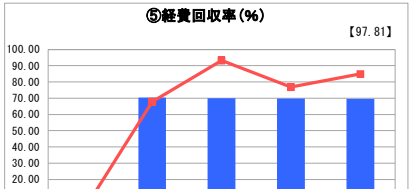
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	27.33	27.94	40.68	57.14
平均値	-	31.15	155.27	62.92	69.15

④企業債残高対事業規模比率(%)　【630.82】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	613.60	623.52	614.40	558.85
平均値	-	1,058.75	1,106.02	1,122.71	793.41

⑤経費回収率(%)　【97.81】

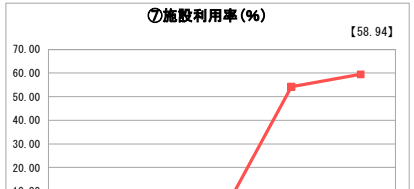


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	70.38	69.95	69.78	69.63
平均値	-	67.76	93.28	76.87	84.86

⑥汚水処理原価(円)　【138.75】

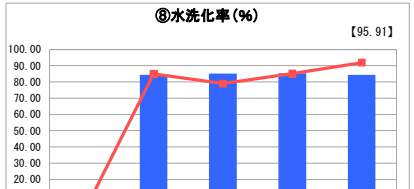
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	150.00	150.00	150.00	150.00
平均値	-	131.37	110.34	161.20	147.69

⑦施設利用率(%)　【58.94】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	-	-	-	-
平均値	-	-	-	54.22	59.45

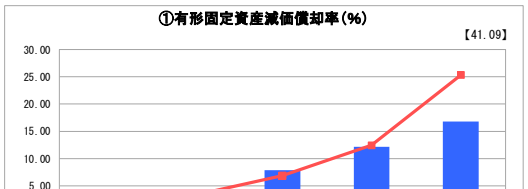
⑧水洗化率(%)　【95.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	84.30	85.21	85.30	84.33
平均値	-	85.02	78.91	85.22	91.93

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【41.09】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	3.83	7.91	12.20	16.82
平均値	-	3.29	6.91	12.44	25.32

②管渠老朽化率(%)　【8.68】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.00	0.00	0.29	0.91

③管渠改善率(%)　【0.22】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.00	0.00	0.01	0.18

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について
　全国平均値及び類似団体平均値を上回っており、単年度収支は黒字を維持しています。一般会計からの繰入による収益が下水道使用料収入よりも多くなっていることから、今後も段階的な料金改定を実施し、公費に依存しない経営体質への改善を図ります。
②Ｒ５年度末現在、累積欠損金はありません。
③流動比率について
　前年度より約40%上昇し、企業債元金償還額が毎年減少していく見通しのため、今後この指標はより上昇していくことが見込まれます。
④企業債残高対事業規模比率について
　他団体平均よりも低い比率となっています。企業債残高は減少していく見通しのため、比率もさらに減少していくと考えられます。
⑤経費回収率について
　前年度値から僅かに減少となり、100%には３割程及ばない状況です。業務効率の改善を図り、汚水処理費のさらなる逓減を目指します。
⑥汚水処理原価について
　前年度から引き続き150円となっています。高コスト要因となっているポンプ施設のメンテナンス及び人的コスト等の見直しを進めます。
⑧水洗化率について
　類似団体平均値をやや下回っており、前年度から微減となっています。水洗化率の向上は事業経営の改善に直結するため、より効果的な対策を実践します。

2. 老朽化の状況について

松伏町の公共下水道は平成５年に供用が開始され、平成２５年度を以て汚水管渠の整備計画を完了しています。汚水管渠の残存耐用年数が２０年以上であることから、本格的な布設替え工事の着手は令和２５年度以降となる見込みです。
①有形固定資産減価償却率について
　汚水管渠については未だ耐用年数を経過していないため、全国平均に比べ低い値となっています。
　ただし、町内のポンプ施設等は目標耐用年数を既に経過しているため、令和２年度に策定した下水道ストックマネジメント計画により、施設の改築または改良工事を進めています。また、雨水幹線については、全体的に老朽化が進行していることから、目標耐用年数の経過を目途に抜本的な改築計画を策定する必要があります。

全体総括

松伏町の将来人口予測については、都心から30km圏内に位置し市街化区域での世帯数は増加し続けているものの、今後5年間の人口推移は減少傾向がさらに顕著となることが予想されます。これに伴い有収水量も人口に比例して減少していくと見込んでいます。
　また、各指標を分析した結果、
・経営戦略に基づいた具体的な料金設定
・未接続世帯へのより積極的な接続勧奨
・維持管理コストの抜本的な見直し　等
について、より重点的に推し進める必要があります。
　不要コストの積極的な抑制と、将来の更新工事等に要する投資財源の確保を両立し、一般会計からの基準外繰入金に頼らない財務体質への改善を進めていきます。

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県　松伏町

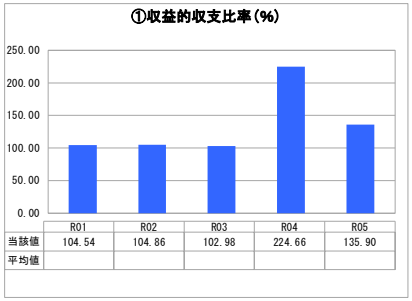
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	0.45	100.00	3,850

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
28,140	16.20	1,737.04
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
125	0.04	3,125.00

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	104.54	104.86	102.98	224.66	135.90
平均値					

②累積欠損金比率(%)

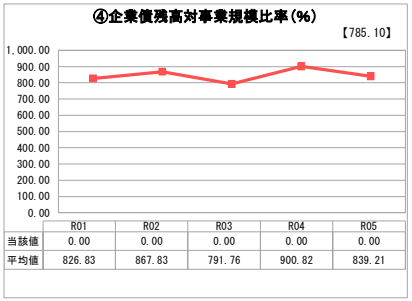
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

③流動比率(%)

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

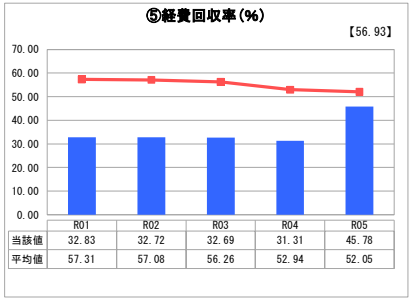
【785.10】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	826.83	867.83	791.76	900.82	839.21

⑤経費回収率(%)

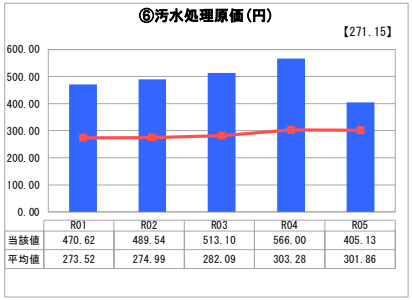
【56.93】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	32.83	32.72	32.69	31.31	45.78
平均値	57.31	57.08	56.26	52.94	52.05

⑥汚水処理原価(円)

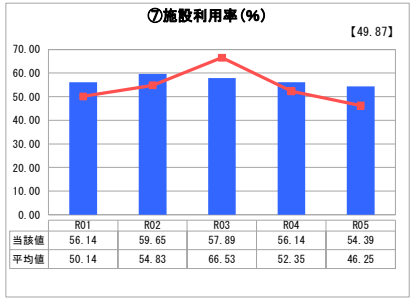
【271.15】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	470.62	489.54	513.10	566.00	405.13
平均値	273.52	274.99	282.09	303.28	301.86

⑦施設利用率(%)

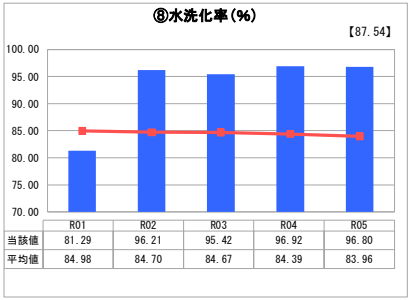
【49.87】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	56.14	59.65	57.89	56.14	54.39
平均値	50.14	54.83	66.53	52.35	46.25

⑧水洗化率(%)

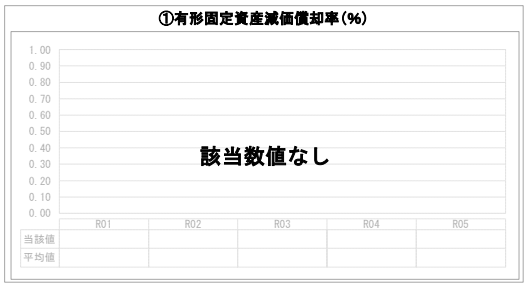
【87.54】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	81.29	96.21	95.42	96.92	96.80
平均値	84.98	84.70	84.67	84.39	83.96

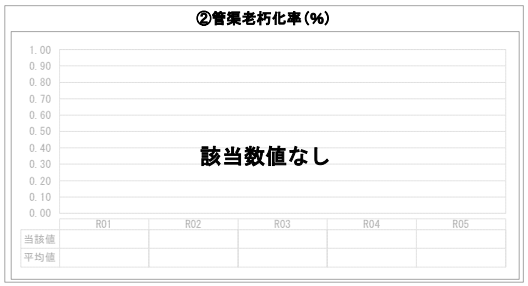
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

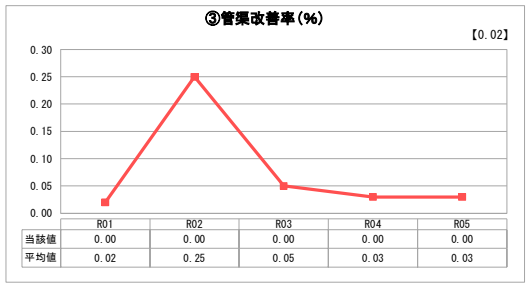
②管渠老朽化率(%)



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.02】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.02	0.25	0.05	0.03	0.03

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
　当該指標は100%を上回っており、単年度収支は黒字を維持しています。
⑤経費回収率について
　前年度値との比較では上昇していますが、類似団体平均値は下回っている状況です。処理場施設（関クリーンセンター）の維持管理費用を抜本的に見直す予定です。
⑥汚水処理原価について
　類似団体平均値より高い値で推移しています。人口減少に伴う有収水量の減少により、原価の高止まり傾向は今後も継続する見込みです。
⑦施設利用率について
　概ね適正範囲内の値となっていますが、徐々に低下傾向にあります。計画人口と現在人口との乖離が顕著となった場合は、遊休状態又は過大なスペックとなっていないかの判断を行います。
⑧水洗化率について
　各種平均値を上回っている状況となっています。水質保全の観点からも当該指標の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

　平成16年度の供用開始から20年が経過したことに伴い、排水処理施設の老朽化対策が喫緊の課題となりつつある状況です。特に処理場施設（関クリーンセンター）については、大半を占める機械設備及び電気設備が法定耐用年数を経過し始めているため、物理的な耐用年数を見極めた上で、長寿命化を含めた施設の修繕及び改築についての将来計画を策定する必要があります。
　一方、管渠施設については、総ての管渠がVU管であり、法定耐用年数の残存年数についても30年以上となっているため、布設替え等の更新投資の優先度は低くなっています。

全体総括

　有収率は100%となっていますが、処理区域内世帯は45世帯、処理区域内人口は125人に留まっており、今後の人口増があまり見込めないことから、使用料収入のみで資本費を含めた全ての維持管理費を賄うことが非常に困難な状況です。一般会計からの公費充当額の減少を第一目標とし、独立採算の実現に向けて必要な施策を実行してまいります。